



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月28日

上場会社名 神奈川中央交通株式会社

上場取引所 東

コード番号 9081 URL <https://www.kanachu.co.jp/>

代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 今井 雅之

問合せ先責任者(役職名) 経営戦略部広報・IR担当課長 (氏名) 村山 大輔 TEL 0463-22-8894

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	31,500	7.2	2,609	△3.8	2,725	△8.0	1,528	△51.9
2025年3月期第1四半期	29,371	6.9	2,712	53.0	2,963	46.9	3,177	106.4

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,367百万円(△4.7%) 2025年3月期第1四半期 2,484百万円(△15.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	124.57	—
2025年3月期第1四半期	258.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	165,237	65,020	35.9
2025年3月期	165,444	63,402	34.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 59,264百万円 2025年3月期 57,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	59,100	△0.3	3,100	△39.0	2,970	△43.5	2,170	△53.2	176.84
通期	119,700	1.3	4,870	△34.1	4,650	△40.0	2,520	△50.4	205.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	12,600,000株	2025年3月期	12,600,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	328,854株	2025年3月期	328,810株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	12,271,168株	2025年3月期1Q	12,271,439株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調にある一方、米国の通商政策の影響や物価上昇の継続など先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループ各社は、各部門において積極的な営業施策を図るとともに、経営の効率化に努めてまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、31,500百万円（前年同期比7.2%増）となりましたが、設備投資拡大による減価償却費の増加などにより、営業利益は2,609百万円（前年同期比3.8%減）、経常利益は2,725百万円（前年同期比8.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,528百万円（前年同期比51.9%減）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

(旅客自動車事業)

乗合バス事業においては、旅客需要が堅調に推移したことにより増収となりました。また、3月より導入した、ICカードを用いたフリーパス方式の乗車券「かなちゃんパス」の利用促進及び普及に努めたほか、4月には藤沢市天神町におけるAIオンデマンドバス実証実験の運行時間帯を拡大するなど、キャッシュレス化や新たな交通モードへの転換等、持続可能なモビリティサービスの実現に向けた取り組みを推進しました。

タクシー事業においては、神奈中タクシー㈱にて一車当たりの収入が増加したことにより増収となりました。

貸切バス事業においては、神奈中観光㈱にて契約単価の向上を図ったことにより増収となりました。

以上の結果、旅客自動車事業全体の売上高は14,793百万円（前年同期比0.5%増）となりましたが、減価償却費の増加や従業員の待遇改善による人件費の増加により、営業利益は1,123百万円（前年同期比31.8%減）となりました。

(不動産事業)

賃貸事業においては、高稼働率の維持に努めたものの、一部テナントの解約などにより減収となりました。

分譲事業においては、湘南エリアを中心に戸建分譲を推進し、販売戸数が増加したことにより増収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は1,837百万円（前年同期比17.2%増）、営業利益は672百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

(自動車販売事業)

商用车販売事業においては、神奈川三菱ふそう自動車販売㈱にて小型トラックの新車販売台数が増加したことや、車両整備収入が増加したことなどにより増収となりました。

輸入車販売事業においては、神奈中相模ヤナセ㈱にて新車および中古車販売台数の増加により増収となりました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は9,947百万円（前年同期比16.5%増）、営業利益は537百万円（前年同期比57.8%増）となりました。

(その他の事業)

商用车架装事業においては、横浜車輛工業㈱にてカブラ架装の受注が増加したことなどにより増収となりました。

ビル管理事業においては、横浜ビルシステム㈱にて4月に東光㈱を買収し事業拡大したことなどにより増収となりました。

流通事業においては、㈱神奈中商事にて前期に販売したバス運賃箱の反動減などにより減収となりました。

情報サービス事業においては、㈱神奈中情報システムにて前期に販売したドライブレコーダなどのバス車載器の反動減などにより減収となりました。

ホテル事業においては、宿泊部門にてインバウンド需要が増加したものの、前期に平塚別館を閉館したことなどにより減収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は7,081百万円（前年同期比1.7%減）となりましたが、不採算店舗の閉店を進め、費用の削減を図ったことなどにより、営業利益は361百万円（前年同期比66.8%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(財政状態の変動状況)

総資産は、投資有価証券の時価評価額が増加しましたが、現金及び預金が減少したことなどにより、前期末に比べて206百万円減少し、165,237百万円となりました。

負債は、旅客自動車事業において前受収益が増加したものの、借入金の返済が進んだことなどにより、前期末に比べて1,824百万円減少し、100,217百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前期末に比べて1,618百万円増加し、65,020百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、第1四半期決算を踏まえ現在精査中であるため、2025年4月30日発表の数値を据え置いております。また、通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りの着地を予想しており、現時点において2025年4月30日発表の数値から修正しておりません。修正が必要と判断された場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,272	3,145
受取手形、売掛金及び契約資産	9,746	9,770
商品及び製品	14,253	15,082
仕掛品	47	63
原材料及び貯蔵品	653	594
その他	2,922	2,783
貸倒引当金	△21	△18
流動資産合計	31,874	31,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	95,712	96,072
車両運搬具	42,511	41,849
土地	62,450	62,506
その他	16,016	16,546
減価償却累計額	△104,698	△105,399
有形固定資産合計	111,992	111,574
無形固定資産	950	922
投資その他の資産		
投資有価証券	17,864	18,903
その他	2,791	2,443
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	20,626	21,318
固定資産合計	133,570	133,815
資産合計	165,444	165,237
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,622	6,737
短期借入金	20,982	18,380
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	1,244	872
賞与引当金	2,462	3,864
環境対策引当金	438	430
その他	14,201	15,772
流動負債合計	56,952	56,057
固定負債		
社債	12,000	12,000
長期借入金	17,366	16,487
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	3,498	3,425
その他	12,222	12,244
固定負債合計	45,089	44,159
負債合計	102,042	100,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,160	3,160
資本剰余金	723	723
利益剰余金	48,737	49,652
自己株式	△939	△939
株主資本合計	51,681	52,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,996	6,621
退職給付に係る調整累計額	50	46
その他の包括利益累計額合計	6,046	6,668
非支配株主持分	5,674	5,755
純資産合計	63,402	65,020
負債純資産合計	165,444	165,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高		
旅客自動車事業営業収益	14,674	14,745
不動産事業売上高	1,564	1,835
その他の事業売上高	13,133	14,919
売上高合計	29,371	31,500
売上原価		
旅客自動車事業運送費	11,657	12,142
不動産事業売上原価	738	972
その他の事業売上原価	10,913	12,256
売上原価合計	23,309	25,371
売上総利益	6,062	6,129
販売費及び一般管理費		
販売費	2,057	2,140
一般管理費	1,293	1,379
販売費及び一般管理費合計	3,350	3,519
営業利益	2,712	2,609
営業外収益		
受取配当金	227	300
助成金収入	79	4
その他	72	44
営業外収益合計	379	349
営業外費用		
支払利息	91	151
その他	36	81
営業外費用合計	128	233
経常利益	2,963	2,725
特別利益		
固定資産売却益	44	20
補助金収入	168	298
特別利益合計	213	319
特別損失		
固定資産除却損	17	148
固定資産圧縮損	165	284
その他	10	37
特別損失合計	193	470
税金等調整前四半期純利益	2,983	2,574
法人税、住民税及び事業税	911	866
法人税等調整額	△1,231	△17
法人税等合計	△320	849
四半期純利益	3,303	1,725
非支配株主に帰属する四半期純利益	126	196
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,177	1,528

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	3,303	1,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△825	646
退職給付に係る調整額	5	△3
その他の包括利益合計	△819	642
四半期包括利益	2,484	2,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,302	2,150
非支配株主に係る四半期包括利益	181	217

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他の 事業 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	旅客自動車 事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	14,674	1,564	8,360	4,772	29,371	—	29,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49	3	179	2,432	2,664	△2,664	—
計	14,723	1,568	8,539	7,204	32,036	△2,664	29,371
セグメント利益	1,648	594	340	216	2,799	△87	2,712

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食事業、ホテル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△87百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他の 事業 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	旅客自動車 事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	14,745	1,835	9,757	5,162	31,500	—	31,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48	1	189	1,919	2,158	△2,158	—
計	14,793	1,837	9,947	7,081	33,659	△2,158	31,500
セグメント利益	1,123	672	537	361	2,694	△84	2,609

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食事業、ホテル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△84百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,274百万円	1,544百万円

(注) のれんの償却額は、金額の重要性が乏しいため注記を省略しております。